

東京国立 博物館 ニュース

展示と催し物案内
第761号

2020

6・7・8

東京国立博物館よりお知らせ …… 2

「特集 日本の仮面 舞楽面・行道面」

「特集 日本美術の記録と評価

— 調査ノートにみる美術史研究のあゆみ —」 …… 3

総合文化展 Pick Up!

(本館/東洋館/平成館/法隆寺宝物館/黒田記念館) …… 4~5

トーハクの調査研究® …… 5

本館展示案内 (2階:日本美術の流れ、1階:ジャンル別展示) …… 6~9

YouTubeで『オンラインギャラリーツアー』はじめました! …… 9

イベント&インフォメーション …… 10~11

「トーハクナビ」、リニューアル! …… 10

表紙の名品
「嵐文雷神図屏風」

裏表紙に
掲載してるほ!



東京国立博物館よりお知らせ



東京国立博物館は、2月27日(木)から臨時休館としておりましたが、新型コロナウイルス感染予防および拡散防止対策を徹底した上で、6月2日(火)から順次展示施設を開館いたしました。なお、開館日・開館時間、休館日、夜間開館は通常時と異なる場合がありますので、当館ウェブサイトをご確認の上、ご来館ください。

◆東京国立博物館来館に際して

入館のご案内

- 入館には **オンラインによる事前予約(日時指定券)** が必要となります。入館無料の方を含め、すべてのお客様はオンラインによる事前予約が必要となります。
- 予約サイトからのみ予約可能となります。電話等ではお受けできません。
- 友の会、メンバーズプレミアムパス、国立博物館メンバーズパス(4館共通)、賛助会会員、キャンパスメンバーズ会員、障がい者手帳等をお持ちの方、無料入館対象の方も、予約サイトからの入館予約をお願いします。なお、ご来館当日は会員証等をご提示ください。
- 1時間ごとの日時指定となります。滞在時間の制限はありません。
- そのほかの注意事項は予約サイトをご覧ください。



チケット予約サイト

当館の取り組み

- 正門においてサーモグラフィによる検温の実施
- 各施設の入口等にアルコール消毒液の設置
- 館内の消毒、清掃の徹底
- 館内スタッフ、職員、搬入業者等すべての関係者への検温及び健康状態の確認を実施
- 会場内の3密(密閉・密集・密接)防止のため、各展示館への入場制限の実施
- 館内スタッフのマスクの着用及びインフォメーション等対面箇所での飛沫感染防止用アクリルパネルの設置(一部ではゴム手袋やアクリル・フェイスガードの着用)
- レストランやカフェでの座席の2メートル以上の間隔確保、または対面とならない配置に変更

お客様へのお願い

- 発熱、咳き込み等の症状があるお客様は入館をご遠慮ください。
- 入館時に検温を実施しております。37.5度以上の発熱が確認された場合、ご入館をお断りします。
- 飛沫拡散を防止するため、マスクを着用してください。また、咳エチケットにご協力ください。
- アルコール消毒液による除菌、こまめな手洗い・うがいにご協力ください。
- 各展示館への入場制限を実施する場合がございます。
- 他のお客様と、2メートルを目途に、十分な間隔を保ってご鑑賞ください。
- 展示室内では会話を控えください。
- 作品、展示ケース、備品や壁には触らないでください。
- 休憩スペースのご利用は、短い時間をお願いします。
- 当館のご来館日時を、お客様ご自身で記録してください。当館内で新型コロナウイルスの感染者が確認された場合は、当館ウェブサイトにてその情報を掲出いたしますので、発生日時にご来館されていた場合は、ご自宅のある都道府県・相談窓口へご連絡ください。

以上の取り組みの上、職員一同、鋭意努力をしております。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆東京国立博物館ニュース(以下、博物館ニュース)

博物館ニュースは、本6・7・8月号(761号)よりリニューアルをして特別展の情報もスペースを広げてご紹介することをお伝えしていましたが、特別展が会期変更・延期となったため、掲載をしていません。また、当館で開催する月例講演会、ギャラリートーク、ワークショップなどのイベントも開催未定のため掲載していません。そのため本来は全16ページのところ、本号は全12ページとなります。また、6月2日時点の情報で作成したため、実際の展示期間と異なる情報が掲載されている場合がございます。最新情報は、当館ウェブサイトをご覧ください。

何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

博物館ニュース4-5月号(760号)でご紹介した、特別展等の会期変更・延期一覧

▶ 特別展「きもの KIMONO」 平成館特別展示室

会期が変更となりました。

旧) 2020年4月14日(火)～6月7日(日)

新) 2020年6月30日(火)～8月23日(日)

▶ 親子のギャラリー「動物のうごき」 平成館企画展示室

旧) 2020年5月12日(火)～6月14日(日)

新) 延期

▶ 特別展「国宝 聖林寺十一面観音 ― 三輪山信仰のみほとけ」 本館特別5室

会期が変更となりました。

旧) 2020年6月16日(火)～8月31日(月)

新) 2021年開催予定

▶ 2020年 日中韓国立博物館合同企画特別展

「東アジアのうるしの世界」 本館特別1室

旧) 2020年7月7日(火)～9月13日(日)

新) 延期

▶ 特別展「スポーツ NIPPON」 平成館企画展示室

会期が変更となりました。

旧) 2020年7月7日(火)～9月13日(日)

新) 2021年開催予定

▶ 特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」 平成館特別展示室

会期が変更となりました。

旧) 2020年7月14日(火)～8月30日(日)

新) 2021年春開催予定

▶ 親子のギャラリー「まるごと体験! 日本の文化」 本館特別4室

旧) 2020年7月21日(火)～9月6日(日)

新) 延期

※ 特別展、総合文化展ならびにチケット、催し物につきましては、今後の状況を踏まえ、予告なしに変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

特集 日本にほんの仮面かめん

舞楽面・行道面

学芸会の劇などで仮面を顔につけ、自分ではない何か別のものに扮する経験をしたことはありませんか？舞楽面や行道面も、何かに成り変わるために使われました。

舞楽ではストーリーに合わせて、酔っぱらいや勇ましい武将など様々な舞楽面がつくられました。崑崙八仙は崑崙山に住む鶴の姿の仙人を表した仮面です。鶴にしては短いくちばしですが、その先に鈴をつけ、演者の動きに合わせて鳴る鈴の音は鶴の声を表します。それぞれどんな役柄か想像してみると楽しめるかもしれません。

行道面は寺院の儀式などで使われる仮面です。よく見ると中国の仏像の影響を感じられる造形もあります。仏像と比べられるのも博物館ならではの楽しみ方です。ぜひ雰囲気や表情を比べてみてください。

(川岸瀬里)



思わずギョッとする、鬼おにの面

迫力ある表情のこの仮面は鬼追いの行事に使われました

追儺面おにま 鬼

鎌倉時代・14世紀
山形・慈光院蔵



丸い大きな目への字口、鶴の姿の仙人

仮面の裏側に制作年代が書かれている貴重な作例です

舞楽面ぶがくめん 崑崙八仙

平安時代・長久3年(1042)
奈良・手向山八幡宮蔵



まるで中国の仏像のような造形

たまご形の輪郭が中国宋時代の仏像を思わせます

行道面きょうどうめん 菩薩

鎌倉時代・13世紀
石川・重蔵神社蔵

本館14室
6月17日(水)
→7月12日(日)

特集 日本にほん美術びじゆつの記録きらくと評価ひやうか

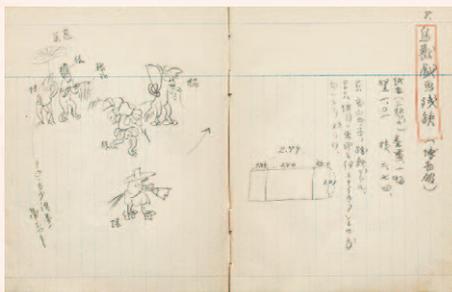
調査ノートにみる美術史研究のあゆみ

博物館には数多くの美術作品が収蔵・展示されていますが、それぞれの作品は最初から、いつ、どこで、誰がつくったのか、ということがはつきりしていたわけではありません。この特集では、美術作品がどのように調査研究され、美術史研究が形づくられてきたのかを、調査ノートと実際の作品によってご紹介します。デジタルカメラやインターネットがなかった時代に、過去の美術史家はどうのように美術作品と向き合ってきたのでしょうか。かつては自分の眼で見て手で写す、というのが調査の基本でした。明治期の今泉雄作・平子鐸嶺に始まり、昭和期に活躍した田中一松・土居次義の資料によって、日本の美術史研究のあゆみを追体験する機会といたします。

(東京文化財研究所・江村知子)

一目であの有名な動物たちだとわかる！

当館蔵の鳥獣戯画断簡を調査したもの。紙の寸法や図様を書き留めています



鳥獣戯画 調査ノート 田中一松記
大正14年(1925) 東京文化財研究所蔵

素早いスケッチと的確な記録

右図の調査記録。画面を構成するモチーフを的確に写し取っています



渡辺始興筆の農夫図屏風調査ノート
土居次義記
昭和47年(1972)
京都工芸繊維大学
附属図書館蔵

穏やかな気分になる日常の一場面

秋草が茂る野中の道。農夫たちの会話を牛も気にしているようです



農夫図屏風
渡辺始興筆
江戸時代・18世紀

本館14室
7月14日(火)
→8月23日(日)

Pick up!

本館

洗練された色彩と
卓越した技法が見られる名品

国宝 孔雀明王像

7月7日(火)～8月16日(日)

3室 仏教の美術



●孔雀明王像 平安時代・12世紀

明王といえ、不動明王のように青黒い体に怒りの表情で恐ろし気な姿が一般的ですが、孔雀明王は穏やかな菩薩の姿をしています。これは、美しい姿で毒蛇をも食べてしまうといわれる孔雀の力を神格化したことに由来しています。

孔雀明王の画像は比較的多くの作例が残っていますが、本図は現存作例の中で最高傑作といえます。明るく柔らかなで華やかな彩色の美しさはいうまでもなく、衣の文様には極細の帯状金箔を貼る截金線、羽毛の筋には金粉を膠で溶いて筆で描く金泥線と、部位によって金の質感を使い分けるなど、12世紀の繊細な美意識を随所に見ることができます。

(沖松健次郎)

本館

当時の女性も流行を
取り入れていました!

帷子

浅葱麻地清水風景模様

7月21日(火)～8月16日(日)

10室 衣裳



帷子 浅葱麻地清水風景模様 江戸時代・19世紀

江戸時代には、町人たちの経済力が高まるにつれて、庶民の間で日本各地の名所を旅する行楽が流行しました。名所案内が刊行されるようになり、人々の間では、京都や江戸、琵琶湖や住吉といった場所の風景が、ランドマークとともに知られるようになり、女性のおいだでも各地方の名所を染めた小袖が流行するようになりました。この小袖は、京都名所のひとつ、清水寺を望む景色を表したものです。本堂の「清水の舞台」や「音羽の滝」といった誰が見ても「清水寺」だとわかるような名所を、桜が咲くうらかな景色の中に染めと刺繍で表した、夏の衣裳です。

(小山弓弦葉)

東洋館

見開いた目、眉間のしわ、
迫力ある表情

天部像頭部

8月16日(日)

3室 西域の美術



天部像頭部 唐時代・7～8世紀
中国・交河故城 大谷探検隊将来品

交河故城は中国新疆ウイグル自治区トウルファン市にある都市遺跡です。その規模は世界最大で、版築(土をつき固める土木技術)で築かれた都市遺跡としては最古級です。

この像は、大谷探検隊がその都市遺跡で発見したものです。眉間を寄せて目を見開き、怒りを露にした表情であることから、現在では天部であると考えられています。

この像に対してコンピューター断層撮影(CT撮影)を行った結果、像の芯の部分は、藁や礫を加えた目の粗い粘土で、顔は目の細かい粘土でつくったことがわかりました。

(勝木言一郎)

東洋館

草原地帯の要素を
取り入れた飾板

鏡形飾板

11月15日(日)

5室 中国の青銅器



(部分)

鏡形飾板 戦国～前漢時代・前4～前2世紀

わずかに凹面をなす楕円盤に、小さな柄がついています。瞳を思わせる円文と櫛歯文を組み合わせた主文様や銅質から、中国西南部の雲南地方で作られたと考えられます。実はこうした飾板と近い作例は、内モンゴルや中央アジアなどの草原地帯にも分布しています。付加的な要素である柄の先端の羊とおぼしき飾りも北方的です。ひとつの作品の中にとっても離れた地域の要素が混在していることに違和感をおぼえるかもしれません。しかし近年の研究ではこれらの地域をつなぐ様々な物証がみつかっています。当時の人や物の動きは、私たちが想像する以上に広範囲に及んでいたようです。

総合文化展 **Pick up!**

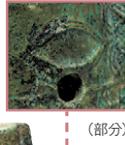
平成館

邪悪なものを持ち上げ眼に注目

扁平鈕式銅鐸

9月6日(日)

考古展示室



(部分)

扁平鈕式銅鐸
弥生時代(中期)・
前2~前1世紀
伝岡山市北区足守出土
徳川頼貞氏寄贈



本作品の見どころは、身を斜格子子文と綾杉文で3区画に分けた上段にある眼の表現です。この瞳のない切れ長の眼という独特な表現は、邪悪なものを見つつけ払う辟邪の意味をもつとされています。このような文様をもつ銅鐸は福田型銅鐸とも呼ばれ、北部九州から中国地方にかけてわずかに分布しています。

一般的に銅鐸は鋳型で作った際に型持ちの孔が身に生じますが、本作品の孔は鋳造後に開けられたもの。佐賀県や福岡県で見つかった福田型銅鐸の鑄型から、通例の銅鐸とは異なり、銅矛の製作技術を応用してつくられたと考える意見もあります。(品川欣也)

法隆寺宝物館

正倉院宝物にもみられない特殊な技法

重文 玉帯残欠

7月12日(日)

第6室 染織―玉帯残欠と様々な技法の染織品―



◎玉帯残欠 奈良時代・8世紀

(部分)

赤や紫、黄色や緑、そして青といった多彩な色糸を組み合わせた幅の広い組紐の帯です。

濃い色から淡い色へとぼかしながら色糸を配列することで、釋文が現われています。組紐で作られた帯は正倉院宝物にもみられるところですが、注目したいのはその間に玉が組み込まれているところ。さまざまな色のガラス玉や真珠玉にあらかじめ穴をあけ、そこに糸を通して帯に組み込んでいます。これは正倉院にもみられない大変特殊な技法であり、さぞや高貴な人物が身に着けたものでしょう。

法隆寺では聖武天皇の玉帯として伝えてきましたが、納得のいく伝承です。

(三田寛之)

黒田記念館

高村光太郎作、貫禄ある黒田清輝の肖像

故子爵黒田清輝胸像

7月21日(火)〜12月25日(金)

黒田記念室



故子爵黒田清輝胸像
高村光太郎作 昭和7年(1932)

黒田記念室の入口には、1924年に永眠した黒田清輝を顕彰して制作された肖像彫刻が置かれています。この彫刻の作者は、彫刻家で詩人としても知られる高村光太郎です。高村は、1905年から東京美術学校西洋画科で黒田にも学び、日頃から尊敬していたといいます。高村は、亡き黒田の肖像写真を頼りに本作品を制作しましたが、生前の黒田の雰囲気や想像させる、堂々とした風格と表情を巧みに表しました。高村の彫刻家としての力量がうかがえる重要な作品です。

(東京文化財研究所・野城今日子)

トーハクの調査研究 ⑧

図面からみる
先人たちの情熱と葛藤

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。



「表慶館完成予想図」明治35年(1902)
実際の表慶館とどこが違うかを見比べてみるとおもしろいかもしれません

築とあわせてぜひご覧
ください。
(大野賢一)

表慶館は大正天皇御成婚を祝し奉祝会より献納されました。明治33年から設計を開始し、明治41年に一部を除き竣工しました。設計は宮内省内匠寮片山東熊、高山幸次郎、建築現場の監督は新家孝正があたりました。トーハクには数100枚の表慶館造営の設計図や関係書類が残されており、これらを調査しています。設計図面は鉛筆やインクで描かれ清書されたものもあれば、変更を加えて消されたものなどがあり、設計者の建築に対する情熱と葛藤が伝わってきます。また多くの詳細図面からは基礎煉瓦の積み方や建築構造、ドアノブや石細工など、明治時代の建築技術が想像できます。本館15室で特集「表慶館の建築図面」(12月8日(火)〜2021年2月14日(日))で紹介する予定です。表慶館建築とあわせてぜひご覧ください。

4

茶の美術



7/7火-8/10月祝

彫三島茶碗 銘 木村

朝鮮 朝鮮時代・16~17世紀
 広田松繁氏寄贈
 内外に表された、可憐な花文が見どころの高麗茶碗です



8/12水-9/22火祝

和漢朗詠集巻上 (久松切)

伝藤原行成筆 平安時代・12世紀

3-3

禅と水墨画
 鎌倉〜室町



7/7火-8/16日

南院国師忌拈香偈

清拙正澄筆
 南北朝時代・延元2年(1337)

◎祖師図

狩野元信筆
 室町時代・16世紀
 禅宗の祖師たちを緻密な構図のなかに描き表した水墨画の傑作です



(部分)

5

4

3-2

宮廷の美術
 平安〜室町

7/7火-8/16日

源氏物語絵巻断簡

平安時代・12世紀
 国宝「源氏物語絵巻」(徳川・五島本)と、もとは一連だった作品です



◎大宇和漢朗詠集切

伝藤原行成筆 平安時代・11世紀
 森田竹華氏寄贈

3-1

仏教の美術
 平安〜室町



7/7火-8/16日

◎十六羅漢像 (第十一尊者)

平安時代・11世紀

真言八祖像 空海

鎌倉時代・正和3年(1314)

真言密教の8人の祖師を描いたもののうち、日本に真言密教を伝えた空海の肖像画です



(部分)

案内 2階 流れ

1-1

1-2

3-1

3-2

3-3

4

1-1

日本美術のあけぼの
 縄文・弥生・古墳



7/7火-12/20日

埴輪 盛装の男子

古墳時代・6世紀
 栃木県壬生町
 ナナシ塚古墳出土
 高山政之助氏寄贈
 帽子を被り全身を着飾ったこの人物は、古墳時代の権力者です



◎みみずく土偶

縄文時代(後期)
 前2000~前1000年
 埼玉鼎さいたま市 真福寺貝塚出土

1-2

仏教の興隆
 飛鳥・奈良

7/7火-12/20日

◎八重鏡

奈良時代・8世紀

入れ子になった8つの鏡。仏像への供物を入れたとも、僧侶が飲食に用いたともされます



7/7火-8/23日

藍紙金光明最勝王経断簡

伝聖武天皇筆
 奈良時代・8世紀



2

国宝室



(部分)

7/7火-8/10月祝

◎地獄草紙

平安時代・12世紀
 地獄の闇の墨色と、血や炎の鮮烈な赤、朱の対比が印象的です



8/12水-9/6日

◎華嚴宗祖師絵伝 元曉絵 巻下

鎌倉時代・13世紀

7/21(火)-8/10(月)祝

◎西湖春景鏡塘觀潮圖屏風
池大雅筆
江戸時代・18世紀



◎納涼図屏風

久隅守景筆 江戸時代・17世紀
夕顔棚の下での夕涼み。ありふれた日常の優しさや楽しみに満ちた作品です

7

屏風と襖絵
—安土桃山・江戸

7/21(火)-10/11(日)

◎群鳥文兵庫鎖太刀
◎太刀 銘一(号上杉太刀)
福岡一文字 鎌倉時代・13世紀
刀身と刀装が鎌倉時代に詠えられ
今に伝えられた極めて貴重な作品
で、刀装はととても洗練されていて
華やかです



7/21(火)-10/4(日)

◎紺系威六枚
胴具足
江戸時代・18世紀
澤木昌子氏寄贈



5-6

武士の装い
—平安〜江戸

7/21(火)-10/18(日)

◎染付龍濤文提重
青木木米作 江戸時代・19世紀
笠置達氏寄贈



◎楓蒔絵文庫

原羊遊齋作 江戸時代・19世紀
原羊遊齋は江戸時代後期の蒔絵師。
伸びやかな楓のデザイン感覚は必見
です

8-1

暮らしの調度
—安土桃山・江戸

8/12(水)-9/22(火)祝

◎業平歌意図
土佐光起筆
江戸時代・17世紀



◎一行書「十景岷山葛」

伊達政宗筆
江戸時代・17世紀
杉山東一氏寄贈
「十」の意表をつく筆順にはじまり、
刀が筆に乗り移ったような、
鋭い筆勢にご注目ください



8-2

書画の展開
—安土桃山・江戸

7/21(火)-8/16(日)

◎着付羽織
萌黄縮子地
的矢模様

坂東三津江所用
江戸時代・19世紀
高木キヨウ氏寄贈
大きな的矢の金刺繍
が目に留まる、歌舞
伎にふさわしい武将
役の衣装です



9

能と歌舞伎

8/18(火)-10/18(日)

◎舞楽装束 還城楽(桶襦)

江戸時代・19世紀
退治した悪蛇を見て歓喜する
抜頭王の衣装。毛縁のついた
豪華な装いです



浮世絵

7/21(火)-8/16(日)

◎美南見十二候・八月
鳥居清長筆
江戸時代・18世紀



◎富嶽三十六景・神奈川沖浪裏

葛飾北斎筆
江戸時代・19世紀
ダイナミックな
波の表現は北斎
芸術の真骨頂。
世界で最も知ら
れる日本絵画の
ひとつです



衣装

7/21(火)-8/16(日)

◎帷子
黒麻地流水紅葉模様
江戸時代・18世紀
紅葉の名所、龍田川を表
した夏の衣装。秋の模様
で季節を先取りします



8/18(火)-10/18(日)

◎小袖 萌黄縮緬地
菊薄垣水模様

江戸時代・18世紀
光琳水模様や家紋と異
なる伊達紋の刺繍など
は、江戸時代中期の流
行です



10

浮世絵と衣装
—江戸

6・7・8月
本館展示
日本美術の



15

-8/16①

にっこうどうちゅうぶんげんのべえ ぞ
◎日光道中間延絵図
 せんしん せうせんし せうさか こしやう おおさがみふどう
千住：総泉寺、草加、越谷：大相模不動
 道中奉行所編 浅草文庫旧蔵
 江戸時代・文化3年(1806)
 江戸幕府が作成した絵図で、日光道の千住から大相模不動宿までを描いたものです



にほんえんかいよ ちず
◎日本沿海輿地図
 (中図) 北海道西部
 伊能忠敬作 江戸時代・19世紀

歴史の記録

14

-7/12① 「日本の仮面 舞楽面・行道面」

ぎょうどうめん たもんでん
◎行道面 多聞天
 和歌山・丹生都比売神社伝来 鎌倉時代・14世紀
 結んだ口、青黒い肌は、東大寺大仏殿の四天王像中の多聞天に做ったものです



7/14②-8/23③

「日本美術の記録と評価
 一調査ノートにみる美術史研究のあゆみ」
 のうふ すびょうぶ
農夫図屏風 渡辺始興筆 江戸時代・18世紀

特集 (↓3ページ)

案内 1階 展示



13-3

-9/6①

ねずきのせきれいもんはら
◎鼠志野鶺鴒文鉢
 美濃 安土桃山~江戸時代・16~17世紀
 岩上の鶺鴒、水や風の動きがのびやかに表わされた鼠志野の優品です



陶磁



せいじ そめつけひやくもんさら
青磁染付瓢文皿
 鍋島 江戸時代・17世紀

13-2

刀剣

-9/6①

たち めい び ぜんのかねひらさく めいぶつ おおかねひら こ びぜんかひら
◎太刀 銘 備前国包平作 (名物 大包平) 古備前包平 平安時代・12世紀
 包平は12世紀の岡山県東南部の刀工。最高峰の日本刀で、迫力のある大きな形状や複雑な変化をみせる刃文は比類がないです



たんとう めい よしみつ めいぶつ あつとう しろう あかたくよしみつ
◎短刀 銘 吉光 (名物 厚藤四郎) 粟田口吉光 鎌倉時代・13世紀

11

-9/13①

もんじゆ ほきつりぞう
文殊菩薩立像
 鎌倉時代・13世紀
 知恵を象徴する文殊菩薩。凛々しい顔立ちと、すらりとした美しいスタイルが印象的です



あいぜんみょうおう ざ ぞう
◎愛染明王坐像
 鎌倉時代・13世紀

彫刻

12

-9/6①

きぬたまき え すずりばこ
◎砧絵硯箱
 室町時代・16世紀



げんじものぬりまきえげんじたんす
源氏物語蒔絵源氏簞笥
 江戸時代・17~18世紀
 多彩な技法で豪華な作行を示し、婚礼調度の一部と考えられます



漆工

13-1

-9/13①

へんこへいがたき かがくもん
扁壺瓶形幾何学文 七宝水注
 江戸時代・17~18世紀
 渡邊豊太郎氏・渡邊誠之氏寄贈



金工



しっぽうきくすいもんひきて
七宝菊水文引手
 江戸時代・18世紀
 引手は櫛や障子の手掛かりにつける金具。銅に鮮やかな七宝釉を焼き付けています

YouTubeで『オンラインギャラリーツアー』

はじめました!

臨時休館中でも総合文化展をお楽しみいただきたいという思いから、展示紹介の動画『オンラインギャラリーツアー』をYouTubeにて公開しています。現在第5弾までご紹介しています。ぜひご覧ください。



第1弾

三田研究員が語る、特集「おひなさまと日本の人形」

毎年行われている人気の特集展示です。今年は、江戸の地で製作された雛飾りの名品などを展示しました。研究員ならではの視点から見る、作品の見どころとその歴史についてご紹介します。



三田研究員が寄せるおひなさまへの熱い思いにふれてください

第2弾

猪熊研究員が語る、特集「朝鮮王朝の宮廷文化」

宮廷人を輩出した特権階級の両班が用いた生活用具を通して、朝鮮王朝の宮廷文化に関わる調度や服飾などをわかりやすくご紹介します。



朝鮮王朝の華やかな調度品から、宮廷人の高い美意識がうかがえます

第3弾

沖松研究員が語る、仏涅槃図の世界

平安時代・12世紀の重要文化財「仏涅槃図」と、鎌倉時代・14世紀の「仏涅槃図」を、比較してご紹介します。あわせて「国宝 十六羅漢像（第二尊者・第十四尊者）」についてもご説明します。



国宝 十六羅漢像の彩色の秘密は必見です!

第4弾

市元研究員が語る、博物館で見る青銅器の鑑賞方法

饗養文甗と、饗養文三犧尊を掘り下げてご紹介します。博物館に赴いて実物を見ることの意味や、その楽しみ方についても熱く語ります。



作品を見る角度など、マニアックな鑑賞方法をご紹介します

第5弾

桜クイズラリーにチャレンジ!

春の恒例企画「博物館でお花見を」で予定していたイベント、「桜クイズラリー」をご紹介します。本館の展示室をめぐり、5つのクイズを出題しています。ぜひ、チャレンジしてみてください!



休館中のため開催できなかった「博物館でお花見を」の雰囲気や、動画で味わってください

-7/5@

チューカーいろ え かにもんすいろう(色絵蟹文水注)

沖縄本島 壺屋焼
第二尚氏時代・18世紀末~19世紀



7/7@-9/27@

マキリこがた(小刀)

北海道アイヌ 19世紀
ウィーン万国博覧会事務局引継
アイヌの万能ナイフ。鞘には鹿角を嵌め、美しい彫刻が映えます

16

アイヌと琉球



本館展示 ジャンル別

18

近代の美術



-8/23@

◎ 褐袖蟹貼付台付鉢

初代宮川香山作 明治14年(1881)
第二回内国勲業博覧会出品

7/21@-8/23@

ごさん いり 御産の禱

安田毅彦筆 大正3年(1914)
ダイナミックな構図と配色で描かれた平安時代の御産儀式の一場面です



閉室情報

本館17室は、6月30日(火)まで閉室としていましたが、閉室期間を延長します。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

本館にデジタルサイネージを設置

本館2階の「日本美術の流れ」の入口をリニューアルし、4K大型プロジェクト画面に当館の代表的な作品を投影しています。さらに本館4室「茶の美術」と本館9室「能と歌舞伎」では、4K映像による実際の茶席、能や歌舞伎の上演風景をデジタルサイネージで上映し、日本文化の世界感をわかりやすく、さらに作品鑑賞をお楽しみいただけます。

チケットプレゼント

総合文化展無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は9月10日(木)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入の上、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース6・7・8月号」プレゼント係

※博物館ニュース2-3月号で特別展「きもの KIMONO」、4-5月号で特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」の無料観覧券(各10組20名様)プレゼントを掲載しましたが、展覧会の会期変更にもない各発送を中止とさせていただきます。

ColBase (コルベース)のご案内

国立博物館所蔵品統合検索システム「ColBase」(コルベース)は、国立文化財機構が運営し、国立博物館4館(東京、京都、奈良、九州)が所蔵している文化財情報を検索できるシステムです。一部の作品については、画像や音声解説のダウンロードが可能です。「ColBase」には、約13万件の作品が登録されており(画像が掲載されていない作品もあります)、好きな作者の作品を検索して、PC用・ウェブミーティング用の壁紙や学習教材にご使用いただくこともできます。ぜひご自由にご活用ください。ダウンロードした画像は、出典を明記すれば、用途を問わず、申請不要で自由にご利用いただけます。詳しくは「ColBase」内の利用規約をご覧ください。



埴輪 馬
古墳時代・6世紀
群馬県大泉町出土



金銅装「字形鏡板付轡」
(こんどうそうえぶしがたがみいたつきつわ)
古墳時代・6世紀 群馬県高崎市剣崎大塚出土

学習用に!
古墳時代、馬具がどのように馬に装着されていたか埴輪から知ることが出来ます。この他にも出土馬具、さまざまな埴輪をご覧ください



壁紙用に!
およそ2,500人の老若男女が生き生きと描かれています。ゆっくり屏風の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか

●洛中洛外図屏風(舟木本)
若佐又兵衛筆 江戸時代・17世紀(右隻)

「トーハクナビ」、リニューアル!

東京国立博物館の公式ガイドアプリ、「トーハクナビ」をご存じですか? 2012年のリリース以来、現在までに11万人を超えるお客様にご利用いただきました。

その「トーハクナビ」が、この春、新しいアプリとしてリニューアルしました。今トーハクで見られるおすすめ作品の解説を、画像と音声でお楽しみいただけるのはもちろん、テーマごとの鑑賞コースガイド、体験型コンテンツやスタンプラリーなど、楽しいコンテンツが満載です。ネットワーク環境があればご自宅でもお使いになれますので、来館前の下調べや来館後のおさらいにも、ぜひご利用ください。

※ご来館前にダウンロードしていただくことをおすすめします。



まずはアプリをダウンロード!

QRコードからご自身のスマートフォンやタブレットに無料でダウンロードできます。旧「トーハクナビ」(2020年3月31日提供終了)とは別のアプリですので、改めてダウンロードをお願いします。



iOS



Android

ココが変わった!

体験型コンテンツ

オリジナルの色合いで浮世絵の多色摺りを体験したり、昔の鏡をのぞきこんだりできる、新感覚の体験型コンテンツを追加しました。



自分の好きな色で、浮世絵の多色摺りを体験できます

マップ

3Dマップをクローズアップしていくと、展示作品が表示されるので、直感的に操作ができます。現在地付近にある展示室のマップを表示できる機能も。



マップを拡大して、気になる建物の展示作品をチェックできます



多言語対応

総合文化展は、海外からのお客様も多くご来館されます。より多くの方にお楽しみいただけるよう、アプリも旧「トーハクナビ」の2言語(日英)から、4言語対応(日英中韓)になりました。



海外からのお客様と一緒にご来館される際にも便利です

カフェテラスオープン

東洋館レストラン「ホテルオークラレストラン ゆりの木」に新たにカフェテラスがオープンしました。抹茶セットやソフトクリーム、クリームぜんざいなどを、レストランの店舗とは独立したブースで販売しています。雨の日でもくつろげる屋根付きの屋外テラス席もご用意しています。晴れた日はソフトクリームを片手に、本館裏側の庭園散策などいかがでしょうか。

※営業日・営業時間は変更となる可能性があります。



カフェメニュー



みたらし団子 500円(税込み)



抹茶と和三盆の干菓子、ひとくち煉羊羹 880円(税込み)

庭園を一部リニューアル

このリニューアルでは、コンクリート建築に屋根瓦をのせてデザインされた本館と、日本の伝統的な様式で建てられたお茶室がある庭園とが馴染むよう整備しました。また、本館背面と池との間の広場の傾斜を緩やかにし、池まで近寄れるようになりました。さらに、庵治石と錆石を大小100枚以上敷き詰めた石の通路を設置しています。草木や花があふれ、さまざまな鳥たちがやってくる庭園の四季折々をぜひお楽しみください。



TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月28日(日)まで終日臨時休演とし、7月1日(水)からの上演再開を予定しております。

VR作品『風神雷神図のウラー夏秋草図に秘めた想い』

7月1日(水)～10月4日(日)

※詳細はウェブサイト(<http://www.toppan-vr.jp/mt/>)をご覧ください。

6・7・8月の開館日・開館時間、休館日、夜間開館情報

詳細は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

東京国立博物館利用案内

総合文化展観覧料金 一般1,000円、大学生500円

- 入館はオンラインでの事前予約制(日時指定券)となります
- 20名以上の団体料金は廃止となりました
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 敬老の日(9月21日<月・祝>)、文化の日(11月3日<火・祝>)は、総合文化展のみ観覧無料

詳細は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>



東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効 年会費:8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚と、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等さまざまな特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効 年会費:一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚提供します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効 年会費:一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読 年会費:1,000円(1年分)

【特典】東京国立博物館ニュースを1年分ご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申込みで100円割引。(2020年6月より年4回発行となります。)

*次号よりご送付希望の場合、締切は2020年8月10日(月・祝)です。

*次号の東京国立博物館ニュース9-11月号は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初スケジュールで製作することが困難となり発行日は9月末の予定です。

○申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

- 振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

- 振替手数料はおお客様負担となります。

- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*現在、ウェブサイトと郵便振替による受付を休止しています。再開が決まりましたら当館ウェブサイトにてお知らせします。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*お申込みに際してご提供いただいた個人情報は、当該目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

*新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館を実施したことに伴い、各種会員制度の有効期限を延長します。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

表紙の名品

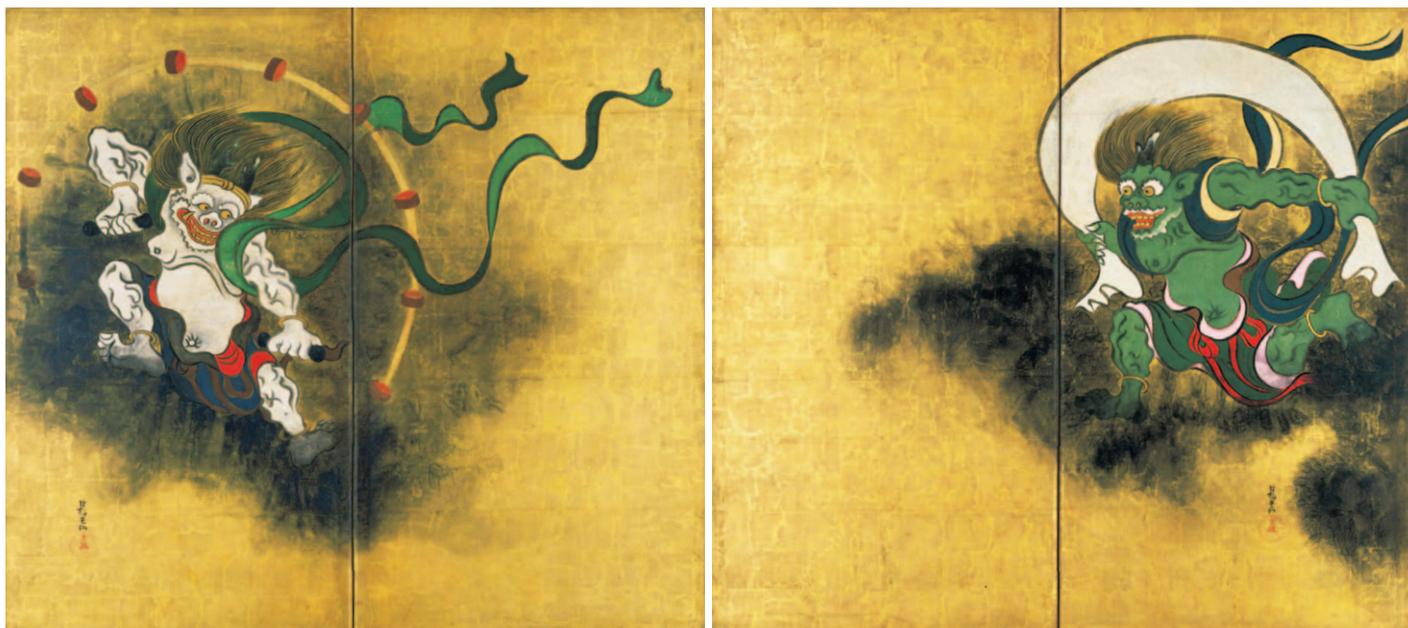
2020年6・7・8月号

重文 風神雷神図屏風

7月21日(火)～8月10日(月・祝)

本館7室

斬新な構図、見事なバランス感覚に優れた光琳の傑作



◎風神雷神図屏風 尾形光琳筆 江戸時代・18世紀

金地の背景に、墨のにじみを用いた黒い雲に乗り、大きな白い袋を持って天空を疾走する風神と、雷鼓を背負い、風神を待ち受けるかのようにポーズをとる雷神が描かれた二曲一双の屏風。筋骨隆々で強そうな、でもよくみてみるとユーモラスな表情をした緑の風神と白の雷神、どこかで見ることがあるな、と思われた方も多いのではないだろうか？ それもそのはず、「風神雷神図屏風」は、「琳派の祖」として知られる俵屋宗達（生没年不詳）が最初に描き、それを約100年後に尾形光琳（1658～1716）が、そしてそのまた約100年後に酒井抱一（1761～1828）が時代を超えて描き継いだことから、琳派の継承関係を語る上で欠かせない画題として知られています。当館に所蔵されているのは、建仁寺所蔵の俵屋宗達による作品を見た尾形光琳が描いた「風神雷神図屏風」です。

尾形家は、宗達とも親しくしていた本阿弥光悦と姻戚関係にあり、また尾形家が営む老舗呉服商雁金屋は後水尾天皇の後であった東福門院皇子の御用を勤めるなど、光琳は幼い頃から美的感覚を養うことのできる恵まれた環境にいました。そこから生み出された作品の数々は、後世の芸術家たちにも大きな影響を与えます。

光琳は、宗達の「風神雷神図屏風」に対し、どのように独自性を出したのでしょうか？ 光琳の作品は、宗達の作品に直接紙を重ねて敷き写しを行ったと考えられています。ただ、宗達の作品を忠実に模写しただけでなく、細かい部分の配色には変更もみられます。そして何よりも大きな違いは、写した風神雷神を、あえて宗達よりも大きなサイズの屏風に配置し直していることです。空間の広がりを意識した宗達とは違い、光琳は屏風の枠を意識し、その枠内でモチーフの関係性が完結するように、あえて風神雷神の視線を互いに交錯させ対照的に構成しているのです。このようなバランス感覚に優れた平面でのデザイン性が、光琳芸術の大きな特徴といえるでしょう。そんな光琳の魅力が詰まった「風神雷神図屏風」を、この機会にどうぞお見逃しなく。

（大橋美織）